

大垣真宗学院 同窓会

同窓会報 第10号

発行日 2017年10月27日
 事務局 岐阜県大垣市伝馬町11 大垣教務所内
 電話 0584-78-3363
 F A X 0584-78-3353
 郵便局振替口座番号 0830-7-206305



同窓会長就任あいさつ



同窓会長 児玉 俊雄

去る六月十日、大垣真宗学院同窓会総会が開催されました。本年は役員改選期に当り、図らずも同窓会長という重責に選任され、誠に未熟ものではありますが、お引き受け致すことになりました。

前任の高垣会長には在任中、五周年記念大会や新学舎建設募金事業、等々を成し遂げられ、同窓会を盤石なものにしていただきました。

この様なご功績に深く感謝致すと共に、更に発展させて行くべく、林文照新副会長、小笠原まや副会長、及び十六人の新役員の方々と気持ちも新たに、力を合わせて、会の目的である「会員相互の交誼を篤くし、大垣真宗学院と会員との関係を密にし、かつ大垣真宗学院の発展に寄与する」(規約第二条)の為に邁進する所存です。学院関係者の皆様や同窓会員の皆様方には、今後とも一層のご理解とご協力を、伏してお願ひ申し上げます。

さて、折しも来年は、大垣真宗学院創立六十五周年・大垣真宗学院同窓会発足十周年の節目の年に当たります。今回も、来てよかったと思っただけの様な内容の記念大会を計画しています。一人でも多くの皆様方にご参加頂き、実り多い大会にしたいと存じます。尚、開催日は、二〇一八年六月九日(土)です。

役員一同、心より会員みなさまのご参加をお待ちしております。

合掌

学院の動き

☆譽田 和人学院長が着任

本年六月の人事異動により、譽田和人新学院長（大垣教務所長、大垣別院輪番）が就任されました。



譽田 学院長

六月の大垣教務所長就任と併せて大垣真宗学院の歴史の末席につかさせて頂くことになりました。この真宗学院は大谷派教師資格の取得を目指す方々の学びの場として星霜を重ねて参りましたが、当初の動機を超えて、親鸞聖人の教えに遇い人生が転換せられる念仏の道場として幾多の求道者を輩出して来ました。寺院の後継者を目指していた者が、念仏の相続者に目覚める大切な道場になって来たのであります。

私達はややもすれば寺院経営の視点からのみ現状を捉え、先行の暗さを嘆いてみせます。しかし、寺院生活者の基に念仏生活をしているかの点検はサボりがちではないでしょうか。門徒を教化するのは如来様のお仕事ですが、その門徒の中に自分を置くことが忘れられている、否、自覚がないのです。

自覚は自らの内から自然発生的に生まれるものではありません。ご門徒と一緒に聴聞する生活の中にこそ、その手がかかります。大垣真宗学院が有縁の方々の念仏道の灯となることを切に願って就任の御挨拶いたします。

☆二〇一七年度新入生を迎える

本年度は土曜夜間コースに十名、夏期集中コースに四名の新入生を迎えました。教区別では、大垣六名、長浜三名、三重二名、岐阜、名古屋、京都が各一名です。十月現在の在学学生（休学除く）は、夏期十三名、土曜夜間十三名、土曜夜間十名です。

同窓会の動き

☆新卒業生二〇人が同窓会に入会

二〇一六年度は土曜夜間と夏期集中コースから計二〇名が卒業され、卒業式と同時に同窓会にご入会いただきました。



新会員は次のみなさんです。これからも宜しくお願いいたします。（順不同、敬称略）

- ▽大垣 谷 純子（六組）、桑原治子（十二組）、田中秀哉（四組）、稲川清香（五組）、稲川佳子（五組）、水谷信代（五組）、竹中裕太郎（六組）、堀 妙子（十組）、毘盧谷侑（十四組）、岡田拓也（十六組）、伊藤 亮（十五組）▽高山 森川治美（清見組）▽岐阜 内山徹郎（十組）、和田滋紀

- （十五組）、原尚登（十五組）、坂高也（十組）▽長浜 東山泰浩（十五組）、斉藤優香（十八組）▽京都 高木佑也（近江第二十五西組）▽福井 北藤 宗（二組）

☆第十回 同窓会総会の開催

六月十日、呼応学舎二階研修室で開催され、会員と先生方の計三十六名にご出席いただきました。物故者追弔会に続いて二〇一六年度の事業報告、決算報告、二〇一七年度の事業計画、予算案はすべてご承認いただきました。（十頁参照）

また、本年は役員改選年にあたり、新役員の選出が行われました。二代目の会長として二期六年にわたって重責を担っていただいた高垣康平会長（一九八九年卒、岐阜）の任期満了を受けて、規約により同窓会役員会から児玉俊雄副会長（一九九六年卒、大垣）を新会長として総会に推挙し、満場一致でご承認いただきました。高垣前会長には、佐藤義成初代会長（一九七一年卒、長浜）と同様、規約により名誉会員に就いていただきました。引き続き監査役を担っていただきます。

そのほか、新役員として、七岡朋子さん（一九九九年卒、長浜）、武田晃威さん（二〇一〇年卒、



長浜)、熊谷裕子さん(二〇一六年卒、大垣)のご承認をいただきました。(新役員名簿は十頁)

総会後は、鷹橋賢由先生による「大垣真宗学院とともに」と題した特別講義をいただきました(要旨は四〇八頁をご覧ください)。大垣真宗学院のこれまでの歩みに多大なご苦勞をいただいた鷹橋先生の、厳しくも熱い思いに久しぶりに接し、わが身の姿勢を問い直した会員も多かったのではないかと思います。

その後の懇親会には、会員と先生方計三十名が参加され、一人一人が近況を報告し合い、和やかなひと時となりました。

今回の懇親会では、長浜教区有志の皆さん(佐藤義成、三山涼子、海北誓子、渡辺容子、七岡朋子、藤環)による寸劇「親鸞聖人と山伏弁円」を上演いただきました。佐藤さんを親鸞役に、藤環さんが弁円役を務め、ほとんどぶっつけ本番ということでしたがそれぞれがはまり役で、熱演に会場は大きな笑いとお念仏の声が満ちあふれました。



来年は六月九日に学院創立六十五周年、同窓会発足十周年の記念大会を開催する予定です。ぜひ、ご参加を予定しておいてください。

高垣前会長の退任挨拶



第十回同窓会総会にて任期が満了しましたので退任致しました。二〇一一年第四回総会で会長を拝命し二〇一七年までの二期六年間永いようで短くも感じる期間でした。

二〇一三年の学院創立六〇周年と同窓会発足五周年記念大会、二〇一四年には新学舎建設募金事業の立上げ等、ハードな事業にもかかわらず、すべてが円成いたしました。これも会員をはじめ、役員各位の前向きな御協力と先生方よりアドバイスを頂いた結果だと思えます。改めて御礼申し上げます。今後新しい会長のもと、「動」の同窓会として機能あらん事を祈念いたします。

新役員からひとこと

七岡朋子 一九九九年卒 長浜

学院在学中は、色々な先生方や仲間との出

会いがあり、あっという間の三年間でした。年一回の上山研修も楽しい思い出として、残っています。平成十二年一月に、父が亡くなり、住職の仕事を手伝って頂くことになりました。それから今日まで、沢山の方の支えがありました。聞法の方も、少しずつ、重ねてきました。

このたび、真宗学院同窓会の役員をさせて頂くことになりました。微力ではありますが、皆様のお役に立ちます様、携わらせて頂きます。よろしくお願ひします。

熊谷裕子 二〇一六年卒 大垣

高垣前会長から推薦(指令?)を頂いて、役員に就任することになりました。戸惑いながらも役員会に参加し、同じ大垣真宗学院という場で学んだ先輩方にお会いできてうれしく思っています。

同窓会の役員会や、総会に出席する中で、先輩方の、「同窓会を通して、真宗学院の学び、先生方の願い、同朋の存在、それぞれを心に持ち続けよう」という願いを感じ、ありがたいことだと思っています。

まだ、同窓会についてよく分かっていない状態ですが、来年の学院創立六十五周年、同窓会発足十周年の記念大会に向けて、すでに計画は始まっております。全く微力ではありますが、少しでも貢献できたらと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。